

各 位



一般社団法人ナレッジキャピタル
株式会社KMO

**米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭
『ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 大阪 2017』 5年連続大阪開催！
今年も全作品無料上映！**

トークゲストには女優の黒木 瞳さんや映画監督の石井 裕也氏・俳優の前野 朋哉氏が登場

開催期間：2017年9月16日(土)～18日(月・祝)
開催場所：グランフロント大阪北館4F「ナレッジシアター」

一般社団法人ナレッジキャピタル(代表理事:宮原 秀夫)ならびに株式会社KMO(代表取締役:小田島 秀俊)は、グランフロント大阪北館4F「ナレッジシアター」において、2017年9月16日(土)～18日(月・祝)の期間、米国アカデミー賞公認国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 大阪 2017(以下 SSFF & ASIA 大阪 2017)」を開催します。

「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」は、新しい映像ジャンルである「ショートフィルム」を日本に紹介するために、俳優の別所 哲也氏が1999年に東京で立ち上げました。2004年には、米国アカデミー賞公認映画祭に認定され、アジア最大級の国際短編映画祭へと成長しています。

「SSFF & ASIA 大阪」は、大阪・関西からの新しいショートフィルム文化の発信を目的に、2013年からナレッジキャピタルが主催しており、今年で5回目を迎えます。

大阪開催での独自企画として、プログラム上映後にさまざまなスピーカーが繰り広げるトークプログラムを開催します。映画祭初日の9月16日(土)には、2016年に長編映画監督としてデビューを果たし、初のショートフィルム作品「わかれうた」でメガホンをとった女優の黒木 瞳さんのほか、映画監督の石井 裕也氏と映画監督で俳優の前野 朋哉氏によるトークセッションも予定しております。(日程未定)

上映作品やプログラムの詳細は、7月下旬に発表いたします。



黒木 瞳さんがトークプログラムに登場



石井 裕也氏(左)と前野 朋哉氏(右)のトークセッションも

以上

■黒木 瞳 プロフィール (監督・女優)

福岡県出身。宝塚歌劇団娘役のトップスターとして活躍。退団後、映画、ドラマ、舞台など多方面で活躍するほか、詩集やエッセイも手がける。近年は、「楽園」(WOWOW)、「就活家族」(テレビ朝日)など連続ドラマに出演、今年11月に「京の螢火」明治座座長公演もひかえている。昨年公開の映画「嫌な女」(松竹)は、劇場用映画初監督となり、今回上映予定の「わかれうた」は、短編映画として初めての監督作品。

■石井 裕也 プロフィール (映画監督)

1983年生まれ。埼玉県出身。商業映画デビュー作『川の底からこんにちは』で第53回ブルーリボン賞監督賞を史上最年少で受賞。『舟を編む』で第38回日本アカデミー賞作品賞、監督賞他、主要6部門で最優秀賞を受賞。

■前野 朋哉 プロフィール (映画監督・俳優)

1986年1月14日生まれ。岡山県出身。『剥き出しにっぽん』(05)で映画デビュー後、俳優と映画監督を並行し、映像作品を中心に幅広く活動。auの三太郎シリーズCMでは、一寸法師役に抜擢され話題を集めた。

「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 大阪 2017」開催概要

開催日程：2017年9月16日(土)～18日(月・祝)
開催会場：グランフロント大阪 北館4F「ナレッジシアター」
料金：無料 ※要事前予約 ※8月1日より予約開始予定
主催：一般社団法人ナレッジキャピタル、株式会社 KMO
協力：MBS、大阪ドイツ文化センター
企画・統括：ショートショート実行委員会

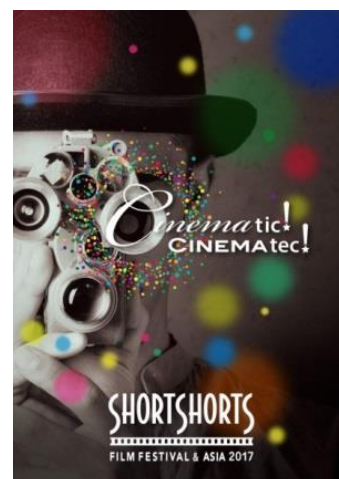
<ご参考>

■今年のテーマは「cinema TIC! cinemaTEC!」

20世紀に花開いた映画文化。銀幕の向こうに広がるシネマの世界が人々を魅了してきました。21世紀を迎え、デジタル化を筆頭にあまたの最先端技術が次々に興隆。撮影や制作現場に革新をもたらすテクノロジーとテクニック —。

シネマテックが花開き、エンターテインメントは垣根を越え、新時代を切り開き、進化し続けています。その一方で、映画が紡ぎ出すシネマチックな体験は、昔も今も変わりません。

来年に控える映画祭20周年を前に、今年は『cinemaTIC! cinemaTEC!』をテーマに、シネマの普遍性と進化の先にある映画・映像の未来に光をあてます。



■ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)について

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭。

新しい映像ジャンルとして「ショートフィルム」を日本に紹介するため、俳優の別所哲也氏が1999年に創立。初年度は、映画『スターウォーズ』で有名なジョージ・ルーカス監督の学生時代のショートフィルムも6作品上映されました。

2002年には「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」と名称を改め、2004年には米国アカデミー賞公認映画祭として認定され、2017年の開催で19周年となります。

また、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成目的から誕生した「ショートショート フィルムフェスティバル アジア(SSFF ASIA 共催:東京都)」は14周年を迎えました。現在、この2つの映画祭が“SSFF & ASIA”として同時に開催されており、アジア最大級の国際短編映画祭へと成長しています。



映画祭代表 別所 哲也氏

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

一般社団法人ナレッジキャピタル 担当:入江・奥村 電話:06-6372-6427/FAX:06-6359-2970

※ナレッジキャピタルは、2013年4月に民間企業主体により開業した「グランフロント大阪」の中核施設です。「感性」と「技術」を融合し、「新たな価値」を創出する世界初の「知的創造・交流の場」として、開発事業者の出資により一般社団法人ナレッジキャピタルと、株式会社 KMO において運営しています。

【施設概要】

施設名	ナレッジキャピタル	
所在地	〒530-0011大阪市北区大深町3-1グランフロント大阪 北館	
施設案内	The Lab. みんなで世界一研究所 (アクティブラボ・カフェラボ・イベントラボ)	地下1階～3階
	フューチャーライフショールーム	1階～6階
	ナレッジシアター	4階
	ナレッジサロン	7階
	コラボオフィス・コラボオフィスネクス	7階～8階
	カンファレンスルーム	8階・10階
	ナレッジオフィス	9階～13階
	コンベンションセンター	地下1階～地下2階
運営組織 代表者	一般社団法人ナレッジキャピタル 代表理事 宮原 秀夫 株式会社KMO 代表取締役 小田島 秀俊	
事業者 (五十音順)	NTT都市開発株式会社 株式会社大林組 オリックス不動産株式会社 関電不動産開発株式会社 新日鉄興和不動産株式会社 積水ハウス株式会社 株式会社竹中工務店 東京建物株式会社 日本土地建物株式会社 阪急電鉄株式会社 三菱地所株式会社	